

InfiniVAN 地域・社会貢献プログラム 2026 を開催

当社連結子会社の InfiniVAN, Inc. (以下「InfiniVAN」)は AI・デジタル社会を支えるデジタルインフラ (国際海底ケーブル、海底ケーブル陸揚局、国内海底ケーブル、陸上バックホールおよびインターネットエクスチェンジ等)を整備し、データセンターをはじめとする大容量通信需要に対応する、フィリピンとアジア太平洋を結ぶデジタルネットワークの構築を推進しております。

10 月 20 日、フィリピン共和国マニラ首都圏タギッグ市ボニファシオ・グローバル・シティ(BGC)の InfiniVAN ORE オフィスにて福井県立高志高等学校*の生徒を招き、InfiniVAN 地域・社会貢献プログラム 2026 を開催いたしました。

*福井県立高志高校：福井県を代表する進学校の一つであり、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)指定校として探究型学習に力を入れております。
SSHは文部科学省が指定する先進的な科学技術、理科・数学教育を通じて生徒の科学的な探究能力等を培うことで、将来社会を牽引する科学技術人材を育成する取り組みです。

ボニファシオ・グローバル・シティ(BGC)



InfiniVAN ORE オフィス



同プログラムでは、当社グループが国際通信事業へ進出した経緯や同国が抱える通信インフラの課題について説明されました。現地駐在員からは日本を離れて海外勤務を選んだ理由や日本と現地の働き方の違い、日本人のグローバルキャリアの可能性等について説明がされました。ORE オフィスの見学では現地スタッフとの交流と業務内容やキャリア形成について意見交換がなされました。

InfiniVAN 地域・社会貢献プログラム 2026



その他、同国に進出している日本企業の地域経済への貢献や InfiniVAN が推進する地域・社会貢献プログラムの経緯、Shinagawa Healthcare Solutions Corporation*の同国における予防医療専門施設不足の解消活動についても紹介がされました。

*IPS グループの連結子会社で、メディア&ヘルスケア事業における人間ドック・健診センター事業を運営



InfiniVAN は、同校の生徒達へ地域・社会貢献に触れる機会を提供するとともに、同プログラムで培った多角的な視点を活かし、同校が掲げる「自律できる力」「問題を解決できる力」「他者を理解し尊重する力」を育み、多様な分野で次世代のリーダーとして活躍することを期待しております。



以 上

■ 本件に関する問い合わせ先

株式会社アイ・ピー・エス（東証プライム 4390）

経営企画部 <https://ipsism.co.jp/ir/inquiry/>

東京都中央区築地 4 丁目 1 番 1 号